

(特非) コンシューマーズ京都(京都消団連)

# 水銀条約にともなう国内対策の提案と その実現のために

|                    |      |
|--------------------|------|
| イベントの<br>延べ参加者数    | 308人 |
| 回収実験で回収<br>した水銀体温計 | 74本  |
| 活動の全体目標<br>に対する達成度 | 90%  |



水銀体温計の回収実験

## ◆成果と工夫したポイント

### ●成果

国内対策の普及啓発については、パンフレットが効果的なものであった。水銀体温計・水銀血圧計の回収実験は効果をあげ、京都市のシステムづくりに貢献した。この活動は、現在、各地のモデル事業につながっている。

### ●工夫

水銀条約という少し縁遠い問題を、蛍光灯、水銀体温計など身近な水銀使用製品の問題から取り上げた。

## 課題

水銀条約の採択にともなう国内対策整備にあたり、必要な情報共有と提言活動を行い、蛍光灯など水銀使用製品の適正処理のための国内対策とルールが整備されることをめざした。

## 目標

水銀条約にともなう国内対策への意見反映と普及啓発をすすめるとともに、自治体、事業者とのパートナーシップ型の活動をすすめることにより、京都市域をはじめ各地の自治体の水銀廃棄物対策の確立をめざしてきた。

## 活動内容

国内対策への意見反映のために、京都府内自治体からの意見書提出、国会への要請を行った。関連法の審議を行う衆議院・参議院の関連委員会への要請を行う中で、参議院環境委員会では「参考人」として意見表明をする機会が与えられた。国内対策の普及啓発のために、シンポジウムやセミナーの開催、啓発物の作成を行った。国内対策の要になる水銀使用製品の回収実験をふくめ、自治体、事業者とのパートナーシップ型の活動をすすめた。

## 達成できなかったこと

水銀条約に伴う国内対策の中で、水銀使用製品の適正処理に関する「拡大生産者責任」の明確化については、私たちの力だけでは実現できなかった。残された最大の課題である。

## 今後の展望

水銀条約にともなう国内対策の推進のために、自治体、事業者とのパートナーシップ型の取組みを展開する。



回収実験であつまった  
水銀体温計